

リベルタ新聞

天空の輝く星に

とある利用者様の一句

8月中旬頃には朝・晩と涼げになり、秋の訪れを感じさせる季節になりましたね。それに比べて日中は、暑い日が続いております。寒暖差による気温の変化で体調を崩しやすい時期ですので、皆様、体調管理には十分気をつけてお過ごしください。



運動チームでは、ハンドグリップや大小様々なボールを使い、ゲームや運動など軽快に身体を動かしています！
芸術チームでは、『お月見』の壁面作りをしています。指の巧緻性が向上しつつ、他利用者様と協力しながら大きな作品を制作し達成感が得られたなら嬉しいです！



2018年

9月1日(土)

リベルタ新聞社

富士市厚原372番地1

ホームページ

<http://www.fujic3.com>

TEL:0545-72-3833

定期連載 俊さんのコラム

「昭和十二年苦難の始まり」

先月号の続き・・・。

東京の小学校も、国民学校と名前を変え、外地で兵隊さんが戦っているといった戦時高揚をあおり、少しずつ戦時色が強まってきました。中国大陸での戦果をあげるたびに、提灯行列、旗行列などとして、戦意高揚を高め、映画、紙芝居にいたるも、戦時色であふれておりました。「肉弾三勇士」「加藤隼航空隊」や日露戦争の頃を題材にした、「広瀬中佐」の映画もありました。

私達小学生は、鼓笛隊を作り、出生兵士を見送る回数が増え、だんだんと戦況が厳しくなり、昭和十六年十二月八日に大東亜戦争は始まり、物資も不足気味となり、やがてすべての食料が、配給制度となりました。

やがて、学童達も、五年生以下は親許を離れ疎開が始まり、東京には女性と幼児と老人のみが、残されました。やがて、戦況が逆転して東京の空にB二四の爆撃機が航空母艦から発進して、東京市民を驚かした。

来月号につづく・・・。

